

平成30年度 一般社団法人イーストとくしま観光推進機構

## 外部評価委員会資料

平成31年2月12日(火)

アスティとくしま2階 第4会議室

午後13時10分～

平成30年度第1回外部評価委員会 議事録 (要旨)

事務局	<p>冒頭、A委員、B委員、C委員、D委員より自己紹介</p> <p>外部評価委員設置要綱第4条第2項に基づく委員長の選任について (他の委員より、A委員の推薦) 異議なしの声 A委員が、委員長就任</p>
委員長	<p>就任挨拶。委員の皆さんには、自由闊達に意見を述べていただきたい。また、設置要綱第4条第3項に基づき、委員長の指名により、B委員が副委員長に就任した。 まず、イーストとくしま観光推進機構の平成30年度地方創生推進交付金事業に関わる予算の執行状況について、事務局から説明をしてください。</p>
事務局	<p>イーストとくしま観光推進機構 専務理事より、プロジェクターを使って、地域再生計画及び重要業績評価指標 (KPI) 設定数値等について説明</p> <p>(徳島県東部圏域の延べ宿泊者数 設定値) 事業開始前：179.57万人 (H29.1月～12月) 毎年3万人ずつの増加で、H30～H32の3か年で9万人の増</p> <p>(主要施設観光入込客数 設定値) 事業開始前：255.74万人 (H29年度) 毎年5万人ずつの増加で、H30～H32の3か年で15万人の増</p> <p>の目標値を設定しているが、イースト単体のみに限らず、徳島県や関係機関等いろいろな団体と取組を連携しながら、目標を達成できるよう進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指標の数値については、11月までの推計値での把握となっている。</li> <li>・現時点での11月までの東部圏域における推計値では、対前年比94.7%の見込み</li> <li>・観光入込客数については、年度単位による把握であるため翌年度にならなければ数値が得られない旨を説明</li> </ul> <p>続いて、平成30年度地方創生推進交付金関連予算について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歳入は、15市町村からの負担金の合計額 4千万円</li> <li>・歳出は、徳島東部地域の観光資源の発掘と磨き上げに向けたデータ収集をはじめとした事業など、合計額については歳入と同様に、4千万円となっている。</li> </ul> <p>続いて、事業内容について説明</p>

「データ収集経費」600千円の説明

10月24日から11月4日までのホテルを活用した留め置き式アンケート及び11月3日・4日に実施した対面式アンケートの525サンプルの分析結果及び別予算で実施した「観光動態調査及び来訪者満足度調査」の分析結果をもとに、属性別の行動実態やニーズを分析しており、具体的な調査結果については、この後開かれる協議会で説明し、今後の事業展開に役立てていきたい。

続いて、自治体・民間事業者・DMOが連携した情報発信の強化について

「イーストとくしまHP制作経費」5,400千円の説明

フェイスブック、インスタグラムを活用しHPに誘因するための取組の展開

10月1日から2月7日までの、ページビューについては、23,752PVであった。

「WEBプロモーション」4,600千円の説明

旅行者に訴求力のある徳島県東部エリアの動画や写真を発信することで、イーストHPへの誘因や誘客につなげる。(例えば、第2弾の「徳島ナイトライフの楽しみ方」などのWEBマガジンによる情報発信)

「募集型企画旅行支援事業」1,500千円の説明

県外の旅行代理店を対象に徳島県東部圏域の宿泊を伴う「着地型旅行商品」の広告掲載費用に助成金を交付し、旅行商品の造成を促進する。

(大塚国際美術館を中心とした旅行商品が造成)

併せて、国内外の旅行者向けパンフレットについては現在、作成中

(日本語、英語、繁体語、簡体語)

また、徳島県東部地域への誘客・送客について報告。

タイ・台湾・香港を中心に、DMO及び徳島東部圏域の観光PR等を行うため各種商談会に積極的に参加した。

「食メニュー」を活用した地域づくり1,500千円の説明

徳島県産の食材を使用したホテルの「朝食メニュー」について、豊かな食に対する興味の醸成や宿泊者の増加及び満足度の向上を図るため、新メニューの拡充等を図りWEBや雑誌「GEEN」の掲載で、情報発信を行う。

「観光コーディネーター養成講座」等、600千円の説明

観光地域づくりの推進で、地域にある資源の価値を見出し、地域の価値をきちんと伝えることができる人材の育成を図ることで、観光客の満足度や飲食・お土産品の消費額の向上につなげる。

第1回は、東京から観光学専門の講師をお呼びして、観光コーディネーターの必要性について講義を行った。

- 第1回 44名出席 「エリア観光地の現状とあるべき姿」
- 第2回 52名出席 「通訳案内士が見た訪日観光客の感動ポイント」
- 第3回 48名出席 「観光コーディネーターの多様な役割」
- 第4回 46名出席 「ガイド業務の基本①」
- 第5回 40名出席 「ガイド業務の基本②」
- 第6回 2月23日(土) 「にし阿波実地体験研修」(実施予定)について説明

続いて、次年度以降の(2019年度)の予算の骨子について説明

①継続的マーケティング事業の実施

- ・マーケティングリサーチを、通年で行うことができるようWEB調査を実施する予定である。

②情報発信・プロモーション事業

- ・東部圏域の食や文化・体験など地域資源を活用した3つのテーマに沿ったコンテンツ制作やWEBによる情報発信を行うことで、HPへの誘因につなげる。  
(別予算のモニターツアーも有効に活用)
- ・QRコード付きフライヤー等を県内外のイベントや観光施設等で配布することによるHPへの誘因。

③セールス事業

- ・国内外商談会への参加及び旅行代理店を通じ、恒常的に旅行商品の造成推進を行う。

④観光地域づくり事業

- ・平成30年度予算に続き、ガイドの養成や観光業の中核をなす観光人材など、様々な養成事業の実施。特産品も併せて行っていきたい。

委員長

事務局から説明があった今年度の現時点までの事業の取組内容について各委員からそれぞれご意見・ご提言があればおっしゃってください。その後、次年度予算のアイデアやアドバイスがあればお願いしたい。

C委員

- ・データ収集によるマーケティングは必要であるため、しっかりと収集を行って誘客につなげてもらいたい。
- ・ホームページについては、先週見て分かりやすく作られていると思ったが、全然知らない人のためにも、他のDMOや観光協会等へのホームページのリンク貼り付けの依頼によって、さらなる周知に努めてもらいたい。
- ・HPの中で、まだ立ち上げ中など整理できていない内容も見受けられるので内容の充実を図りながら、できる限り早急に対応を進めていただきたい。

C委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送客・営業活動については、インバウンド商談会に参加する前の事前の打ち合わせなど、それぞれの市町村と民間事業者とDMOとの役割分担を確認し、15市町村全体のエリアとしての効果的な魅力発信や事業展開を図って欲しい。（事業展開が重複しないように調整をお願いしたい。）</li> <li>・広域連携の食メニューについては、各ホテルの新たな取組がより見えるように、工夫を行って欲しい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの相互リンクの推進については、C委員の発言のとおり進めてもらいたい。また、役割分担について事務局から説明をしてください。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商談会のそれぞれの役割分担については、県はバス助成など、助成制度の説明を中心にっており、徳島市と鳴門市に宿泊事業者が集中しているため、それ以外の13市町村については、商談会の参加前に事前の打ち合わせを行い、観光施設や観光素材など、宿泊以外の情報発信を中心に行っている。</li> <li>ホームページのリンクについては、対応ができていないため、委員のおっしゃるとおり進めてまいりたい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次にD委員からお願いします。</li> </ul>
D委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般市民からの盛り上がりを感じられるものを進めて欲しい。</li> <li>・藍サミットのようなイベントも大事であるが、普段の生活の中に徳島に関心を持てるような取組を進めてもらいたい。徳島ならではの体験が欲しいし、重要であると考えている。一般市民の方がもっともっと関心を持ち、市民が盛り上がるような観光の取組をお願いしたい。</li> <li>・例えば、徳島駅に着いた時に、徳島は藍だなと身近に、徳島らしさを感じられるような長期的なビジョンを持って取り組んで欲しい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DMOを立ち上げた第一の目的は、対外的な情報発信で訪問客を増やすことだが、もちろんそれだけでは十分でない。D委員がおっしゃるとおり、徳島県民だれもが地元へ愛着や誇りを持ち、おもてなしの心で自らイベントに参加するなど、地域全体で盛り上がりにつなげていく必要がある。とは言え、全てをいっぺんには行うのは不可能なので、まずはできることから始めていただきたいと思う。続いて、B委員さん、お願いします。</li> </ul>
B委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近、ネットが発達して民泊サイトでは宿泊だけではなく、個人を対象にしたイベントなどを売っている。また、テレビを見ると、外国人観光客を自分の家に受け入れ「日本料理を教える」だけで2時間8千円の事業が成りたっていることから、観光関連事業者以外の人でも、できることや、アピールの仕方を学んで欲しい。</li> </ul>

B委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、イースト本来の仕事である情報収集によるマーケティングをしっかりと行うということも必要であるが、一方で、集まった情報の分析だけでは不十分と感じており、収集した情報のみならず、こういう人を徳島に呼びたいという視点でビジョンを描いて取り組んで欲しい。</li> <li>・徳島に呼びたいターゲットを定めるとともに、ターゲット以外の人巻き込んだ付加価値のある高価格帯の旅行商品の造成によって、結果、徳島に来る人も考えられるため魅力ある商品の造成をお願いしたい。</li> <li>・自分が旅行するときは、興味があるワードを検索して、記事を読んでさらにこの記事をもっと具体的に調べたい場合に、ホームページで検索を行っている。ホームページは総花的な「百貨店」になりがちなため、ピンポイントで、「ラーメン」などの記事をネットにちりばめて誘客につなげてみてはどうか。</li> <li>・「お母さんが一人でやっているカウンターの路地裏名店めぐり」や、「徳島のバー」、「ラーメンの茶系・白系・黒系」など、絞ったところからの広がりが見られる情報発信についても考えてみてはどうか。</li> <li>・徳島の食材を使ったメニュー事業で、1,500千円の予算をかけて行っているが、事業者と飲食店とのコラボなど、当機構のコストをかけずにできるような方法を検討してもらいたい。また、市内ではさまざまな全国大会も開催されているが、地元の食材を多く使っても、県外客の方にとって徳島産食材そのものが何か知らない人が多い。「フィッシュカツ」ぐらいはわかるかもしれないが、「阿波尾鶏」、「阿波牛」、「鳴門金時」、「鳴門のレンコン」など、徳島の食材の素晴らしさをきちんと明示し、伝える表現方法についても考えて欲しい。</li> <li>・また、テレビを見てびっくりしたのが、海外の「動物写真のプロと行く日本の動物写真撮影ツアー」では動物好きなカメラマンが海外からひとり900千円でも、この人にガイドしてもらいたいということで、順番待ちの状況がでるほどのツアーとして成立している。総花的な手法の取り組み以外の、タレント性を活かした商品を作るなどの取組も行ってもらいたい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島の食材を使ったメニュー契約について説明してください。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食メニュー事業については、補助メニューを活用し、プロポーザルで事業者が事業を取得しましたが、B委員のおっしゃるとおり、掲載自体が各店舗の受益につながることから、ご理解をいただきながら、今後については、委員ご指摘の方向で検討を進めてまいりたいと考えています。</li> </ul>

<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B委員ご指摘のように、受益者である飲食店から広告料をいただくなど、本事業でも費用対効果を意識したビジネス・スキームを構築できないか、検討していただきたい。</li> <li>・ 私からKPIの効果測定と目標設定について意見を申し上げたい。資料9ページに平成29年度の観光入込客数255万人に対し、今年度から毎年プラス5万人という目標が掲げられている。その根拠となるのが、資料23ページに掲載の国土交通省四国運輸局が発表する観光施設入場者数のデータである。徳島県内は15ヶ所のデータが示されており、ここでは東部圏域10カ所の合計値を用いている。このうち最も多いのは「文化の森総合公園」で、全体の3割近くを占める。さらにその年次推移変化を見ると、平成28年度110万人から29年度91万人へ19万人も減少した。一般的に、博物館・美術館・図書館は県民の利用が多い点や、特別展など催しや臨時休館などのスケジュールの影響を受けやすい点を考慮すべきだろう。一方、徳島県最大の観光イベントである阿波おどりは、今年度県外からの来場者が大きく減ったと報道されているが、目標の数値には全く反映されない。同様なことは「マチ★アソビ」や「LEDアートフェスティバル」にも言える。例えば「ひょうたん島クルーズ」の乗船者数は使えないのか。KPIの評価は非常に重要であるから、単なる施設入場者の合計値で判断するのではなく、それぞれの施設の役割や増減理由、イベントの開催状況などを詳しく調査分析した上で、なるべく実態に合った検証を行っていただきたい。</li> <li>・ その他、次年度の取組も含めて、付け加えてご意見等があればおっしゃってください。</li> </ul>
<p>D委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ できることはたくさんあるので、市民が盛り上がるような取組をして欲しい。</li> <li>・ 新町川の水際公園を起点とした全体的な広がりや、将来を見据えた継続的な取組をお願いしたい。積み重ねていくことが大事である。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政は単年度主義が原則で、予算がついても期間は2～3年間であり、継続性の点で難しいのは事実である。DMO主導で始まった「観光人材コーディネーター養成講座」など非常に重要な取り組みと思うが、教育や人材づくりの効果は数値としてすぐに表れるわけではない。本委員会の総意として、民間、市民サイドの様々な活動を組み合わせながら、長期的な取組につなげてほしい。</li> </ul>
<p>D委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんな取組も手応えが出るまで最低10年はかかる。</li> </ul>
<p>C委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DMOの活動について、ほぼ1年経つが、存在感がない、あるいは何をやっているのかわからないと周りと言われていたが、最近の状況や今日の報告を受けると色々な事業を行っていることがよくわかるので、地域のためにやっていることをメデイ</li> </ul>

<p>C委員</p>	<p>アを通じてアピールするなど、活動自体の情報発信を意識しながら、一緒に観光地域づくりを取り組む仲間を増やして欲しい。DMOの活動の情報発信を積極的に行うことで自主財源の確保にもつながるので、ぜひお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DMOは専門集団であると認識しているので、組織として専門性のスキルアップをどうやって図っていくのかを考えてもらいたい。</li> <li>・また既に、プロパー1名が辞められており、今後の活動体制について、どうするか。また現在、職員の8人中、自治体からの出向が4人、民間からの出向が2人、プロパーが2人であるため、外からみると行政中心に映って見える。「脱行政主導」、「民間主導」で立ち上げた組織であり、外見も、実質的な中身も民間に軸足を置いた活動を行ってもらいたい。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DMOの設立目的である対外広報の強化と県内活動の展開を両輪として、また行政と民間のハイブリッド組織という特性を生かしながら積極的に事業を進めてもらいたい。</li> <li>・限られた時間の中、DMOの今年度の事業報告に対する貴重なご意見を、各委員の皆様からいただきました。また、円滑な議事進行にご協力をいただき誠に、ありがとうございました。</li> </ul> <p>以上をもって、本日の委員会を終了いたします。</p>



# 目次

外部評価委員会設置要綱	1 頁
まち・ひと・しごと創生「総合戦略」全体像	2 頁
地方創生関係推進交付金	3 頁
地域再生計画(提出書類)	4 頁
イーストとくしま観光推進機構2018年度予算	12 頁
イーストとくしま観光推進機構(2018～2020予算)	13 頁
イーストとくしま観光推進機構(2018年度事業報告)	14 頁
都道府県別 延べ宿泊者数年計(観光庁「宿泊旅行統計調査」)	21 頁
都道府県別 外国人延べ宿泊者数年計(観光庁「宿泊旅行統計調査」)	22 頁
徳島県 観光施設入込状況(国道交通省 四国運輸局)	23 頁

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構  
外部評価委員会設置要綱

(目的)

第1条 一般社団法人イーストとくしま観光推進機構(以下、「機構」という。)が、交流人口の増加や徳島県東部圏域の活性化を図るため、地方創生推進交付金を活用して実施する事業の評価や効果等を検証するため、一般社団法人イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会(以下、「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事務を所掌する。

- (1) 徳島県東部圏域の延べ宿泊者数、観光入込客数等の重要業績評価指標の評価や検証に関する事。
- (2) 重要業績評価指標の進行管理に関する事。
- (3) その他必要な事項についての提言に関する事。

(組織等)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員で構成する。

- (1) 学識経験者
- (2) その他、必要と認められる者

(役員)

第4条 委員会には次に掲げる役員を設置する。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- 2 委員長は、委員の互選による。
- 3 副委員長は、委員長の指名による。
- 4 役員任期は、2年とする。但し、欠員が生じた場合の補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 役員は、再任することができる。

(会議)

第5条 委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、機構事務局において所掌する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項については、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成31年1月18日から施行する。

# まち・ひとと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略」の全体像

## 長期ビジョン

中長期展望(2060年を視野)

### I. 人口減少問題の克服

◎2060年に1億人程度の人口を確保

◆人口減少の歯止め  
・国民の希望が実現した場合の出生率(国民希望出生率) $\approx 1.8$   
◆「東京一極集中」の是正

### II. 成長力の確保

◎2050年代に実質GDP

成長率1.5~2%程度維持  
(人口安定化、生産性向上が実現した場合)

## 総合戦略(2015~2019年度の5か年)

### 主な重要業績評価指標(KPI)(※1)

- 6次産業(101億円)の創出(2019年度)
- 外国人労働者の増加(2019年) 23万人(2015年比)
- 地方創生(1,000億円)の創出
- 地方移住の推進  
年間移住者数20,000件
- 企業の地方拠点強化  
拠点強化件数7,500件、雇用者数4万人増
- 地方大学等活性化(国県大学進学割合平均51.8%) (2013年度32.3%)
- 若い世代の経済的安定:若者就業率78% (2013年75.4%)
- 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援  
支援ニーズの高い妊産婦への支援実施率100%
- ワーク・ライフ・バランス実現:男性の育児休業取得率13% (2013年2.03%)
- 「小さな拠点」の形成  
「小さな拠点」形成数
- 定住自立圏の形成促進  
協定締結等圏域数:140
- 既存ストックのマネジメント強化  
中古リフォーム市場規模20兆円 (2010年10兆円)

### 基本目標(成果指標、2020年)

- 「しごと」と「ひと」の好循環作り
  - 地方への創生(2015年度)
    - 若年層(10代)の増加(2015年度) 20万人(2010年度比)
    - 若い世代の正社員採用(増加)の割合(15~24歳の割合)の上昇(2015年度) 20%増(2010年度比)
    - 女性の活躍(2015年度) 70%増(2010年度比)
  - 地方への新しいひとの流れをつくる
    - 現住:東京圏増員10万人大増
    - 地方:東京圏の移出15万人(2010年) 地方→東京圏転入:6万人増 東京圏→地方転出:4万人増
  - 若い世代の結婚・出産・子育ての希望が実現
    - 安心で結婚・出産・子育てができる社会を達成していると思える人の割合(40~49歳)(2013年) 75%
    - 第1子出産前後の55%増(2010年8.0%)
    - 結婚希望男女結婚率80%(2010年6.8%)
    - 夫婦子育て満足(2012) 72%
    - 子育て支援満足(2012) 85% (2010年78%)

### 好循環を支える、まちの活性化

- 定住自立圏の形成促進  
◎地域連携等圏域の形成  
◎目黒区圏域(地方創生)の形成

### 主な施策

- ① 地域産業の競争力強化(各種横断的取組)の推進
- ② 地方産業の競争力強化(分野別取組)の推進  
「六次産業化」「観光立国」「農林水産業の成長産業化」等の推進(「農林水産業の競争力強化」)による産学官連携の推進
- ③ 地方への人材導入・地方での人材育成・雇用対策の推進  
「地方創生」の推進
- ④ 地方移住の推進  
「全国移住促進センター」の開設・移住情報一元提供システム整備  
「地方居住推進国民会議(地方居住(二地域居住を含む))推進」  
「日本版GUREX」の検討、普及
- ⑤ 地方拠点強化、地方採用・就労拡大  
企業の地方拠点強化等  
政府関係機関の地方移住  
連携推進(母子テレワークオフィス、テレワーク)の促進
- ⑥ 地方大学等創生5か年戦略  
若者雇用対策の推進、正社員実現加速  
結婚・出産・子育て支援  
「子育て世代包括支援センター」の整備  
子ども子育て政策の充実  
若年層支援(三世帯同居、近居支援)  
仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現(「働き方改革」)
- ⑦ 地方移住の推進  
「全国移住促進センター」の開設・移住情報一元提供システム整備  
「地方居住推進国民会議(地方居住(二地域居住を含む))推進」  
「日本版GUREX」の検討、普及
- ⑧ 地方拠点強化、地方採用・就労拡大  
企業の地方拠点強化等  
政府関係機関の地方移住  
連携推進(母子テレワークオフィス、テレワーク)の促進
- ⑨ 若者雇用対策の推進、正社員実現加速  
結婚・出産・子育て支援  
「子育て世代包括支援センター」の整備  
子ども子育て政策の充実  
若年層支援(三世帯同居、近居支援)  
仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現(「働き方改革」)
- ⑩ 「小さな拠点(多世代交流・多機能型)」の形成支援  
地方創生による経済・生活圏の形成(地域連携)  
地方の活性化(多世代交流・多機能型)の形成  
地方創生による経済・生活圏の形成(地域連携)  
地方の活性化(多世代交流・多機能型)の形成
- ⑪ 大都市圏における安心な暮らしの確保  
既存ストックのマネジメント強化

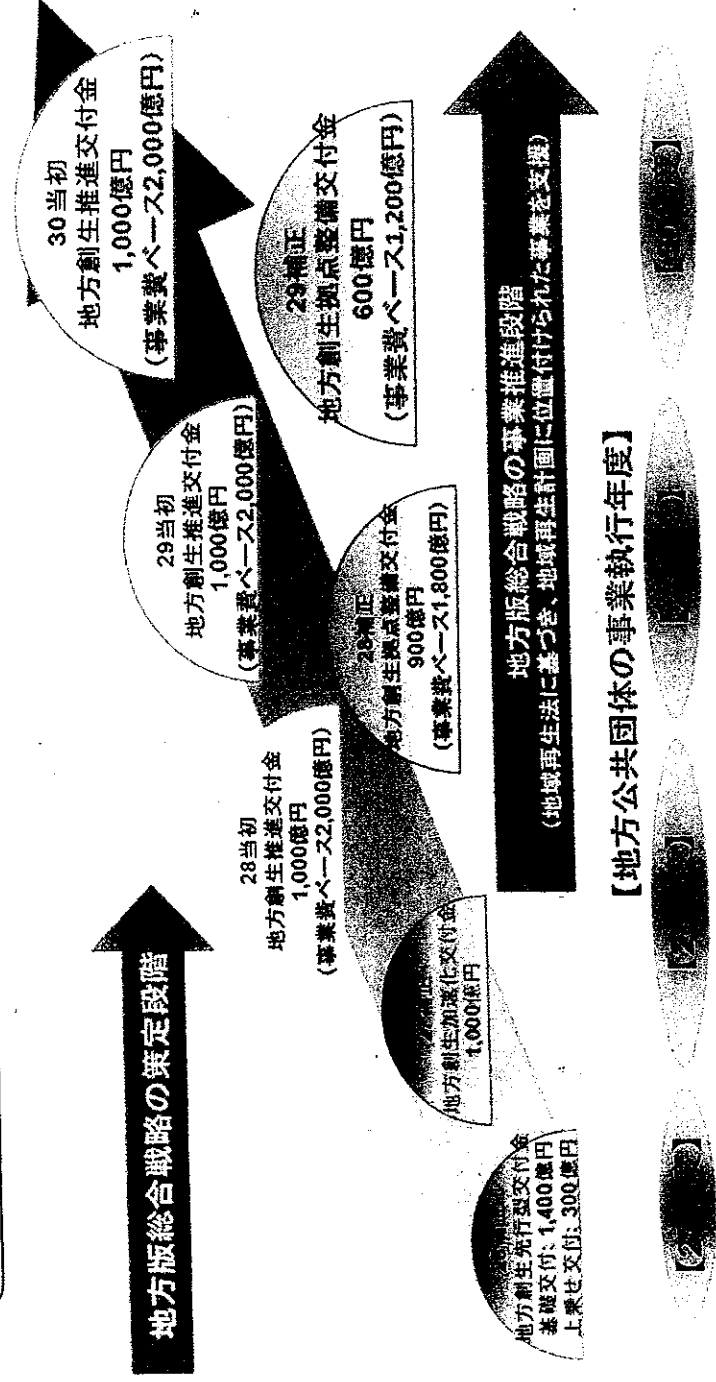
※1 Key Performance Indicator の略。政策ごとの達成率を成果指標として、日本経済戦略(2013年6月)でも設定されている。

※2 米国では高齢者が専ら住み、健康時から介護・医療が必要となる時期まで継続的なケアや生活支援サービス等を受けながら生活学習や社会活動等に参加するような共同体(Continuing Care Retirement Community)が約2,000カ所ある。

# 地方創生関係交付金

## 地方創生関係交付金の概要 (イメージ)

- 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援



## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

徳島東部地域におけるDMO推進

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市及び阿波市並びに徳島県勝浦郡勝浦町及び上勝町、名東郡佐那河内村、名西郡石井町及び神山町並びに板野郡松茂町、北島町、藍住町、板野町及び上板町

### 3 地域再生計画の区域

徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市及び阿波市並びに徳島県勝浦郡勝浦町及び上勝町、名東郡佐那河内村、名西郡石井町及び神山町並びに板野郡松茂町、北島町、藍住町、板野町及び上板町の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 4-1 地方創生の実現における構造的な課題

(1) 徳島県への来訪者の主な観光ルートが、淡路島・香川県東部から徳島県東部（鳴門市・徳島市等）に流入するルートと香川県西部から徳島県西部（祖谷等）に流入するルートに別れ東西が分断されており、さらに、徳島県東部・西部それぞれに観光客を惹きつける観光資源を有しており観光客数は多いものの、市内や県内での周遊ルートや滞留施設が十分に整備されていないことから、来訪者が徳島県内を観光した後、直ぐに四国の他県や関西圏などに流出しているため、徳島県が宿泊を伴わない経由地になりがちな状況にある。このことが、徳島県の延べ宿泊者数の低迷に繋がっており、県及び県内市町村の連携による広域連携による観光の推進や圏域の主要観光地・交通拠点を結ぶ周遊ルートの整備と定着に向けた取組など、滞在型観光に向けた事業を推進していくことが喫緊の課題となっている。

(2) 徳島県東部では、絶対的な誘客コンテンツである「阿波おどり」を有しているがその反面、観光のピークが「阿波おどり」が開催される夏場に集中し、それ以外の時期は比較的、観光客が少なくなっている。これにより、宿泊施設の回転率の不均衡に繋がっており、その結果、滞留時間の長い旅行商品を造成しにくい等の問題が生じている。今後は、観光資源の発掘・ブラッシュアップによる1年を通じた誘客コンテンツの開発・定着化や戦略的な情報発信、受入体制の整備など、観光の通年化を図る取組を進めることが求められる。

- (3) 急速に観光を取り巻く環境（高速交通・通信網の整備、観光スタイルの多様化、外国人旅行者の急増等）が変化していく中、県内外の徳島東部地域周辺の観光地のブランド化が進む一方で、徳島東部地域の観光地としての存在感が低下しており、その結果、これまでも徳島県東部の市町村が連携して観光地域づくりに取り組んできたが、入り込み観光客数は伸び悩んでいる状況が続いている。このため、より一層、地域間連携を強化しつつ官民が連携して地域住民を巻き込みながら、専門性を持って継続的に観光振興に取り組んでいく体制を構築し、旅行者のニーズの多様化等に速やかに対応し、それぞれの地域の特性を發揮した広域観光地域づくりを進めていくことが求められている。

#### 4-2 地方創生として目指す将来像

人口減少に伴う地域活力の低下が問題となる中、近年、地域経済の活性化やしごと創生に高い効果が期待される「観光」に注力する自治体が増加しているが、徳島県の宿泊者数は、都道府県別で全国ワーストが続くなど、観光産業の拡大が徳島県の大きな課題となっている。こうした中、徳島県西部では、2市2町と地域連携DMO候補法人が連携してインバウンド対応などに成果をあげているが、徳島県内でも有数の観光地である徳島市・鳴門市等が位置する徳島県東部では、インバウンド対応や観光分野における広域かつ官民協働による取組等が遅れている状況にある。

徳島県東部は、「鳴門の渦潮」「吉野川」「眉山」など雄大で豊かな自然や「阿波藍」「阿波人形浄瑠璃」「お遍路」など世界に誇ることのできる独自の歴史文化など、魅力的な観光資源を多数有している。とりわけ、「阿波おどり」は観光の柱となっており、毎年100万人以上の見物客が訪れているほか、近年では「大塚国際美術館」が国内外から高い評価を得ているところである。

徳島県東部では、これまでも定住自立圏協定を交わしている12の市町村が「徳島東部地域体験観光市町村連絡協議会」を設立し、市町村の枠を超えた広域圏域での観光振興を目指して、各市町村が連携しながらさまざまな事業を実施してきた。

今後は、鳴門市、吉野川市、阿波市を加えた徳島東部15市町村において、新たに全国最大級の自治体数となる徳島東部地域DMO（仮称）を設立し、旅行者のニーズの変化等に対応できる仕組みを構築することにより、徳島東部圏域が一体となって、広域かつ戦略的に観光・交流を促進するための方策を推進することを目指そうとしている。

さらに、民間事業者等が主体的に関わるなど民の役割を強化し、官民が一体となり、より効果的で、継続的・自立的な観光振興を進めていくことにより、入り込み観光客数や宿泊者数の拡大を図り、観光消費を増加させることで、観光産業

の振興による交流人口の増加や圏域の活性化に繋げていくことが求められている。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	H31 年度 増加分 2 年目	H32 年度 増加分 3 年目	KPI 増加分 の累計
徳島県東部圏域の延べ宿泊者数 (万人)	179.57	3	3	3	9
徳島県東部圏域の観光入込客数 (万人)	255.74	5	5	5	15

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

徳島県東部地域 15 市町村及び民間事業者 20 社以上が連携して、観光消費額の増加による地域経済の活性化や住民愛着度の向上を目的とした徳島東部地域DMO (仮称) を設置し (平成 30 年 3 月 30 日に (一社) イーストとくしま観光推進機構を設立済みであるため、以降名称を改める)、(一社) イーストとくしま観光推進機構が、戦略的なマーケティング、情報発信の強化、誘客・送客・流通促進、広域連携による観光地域づくりの推進等に取り組み観光振興を推進することで、交流人口の増加や圏域の活性化を図る。

5-2 第 5 章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金 (内閣府) : 【A3007】

① 事業主体

徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市及び阿波市並びに徳島県勝浦郡勝浦町及び上勝町、名東郡佐那河内村、名西郡石井町及び神山町並びに板野郡松茂町、北島町、藍住町、板野町及び上板町

② 事業の名称：徳島東部地域におけるDMO推進

③ 事業の内容

徳島県東部地域 15 市町村及び民間事業者 20 社以上が連携して、観光消費額の増加による地域経済の活性化や住民愛着度の向上を目的とした (一社) イーストとくしま観光推進機構を設置し、(一社) イーストとくしま観光推進機構が次の取組を実施し、観光振興を推進する。

(1) 日本版DMOの設置

徳島東部地域の広いエリアの観光資源を活用し、官民協働で広域観光地域づくりを戦略的に進めていくための舵取り役として、「(一社) イーストとくしま観光推進機構(日本版DMO)」を、官民が一体となって設立する。(平成30年3月30日に(一社) イーストとくしま観光推進機構を設立済み)

(2) (一社) イーストとくしま観光推進機構を司令塔とした戦略的なマーケティング

データ収集・分析を通して、データに基づくターゲットの設定や15市町村の観光資源の発掘・再発見や磨き上げなど戦略的なマーケティングを進める。

(3) 自治体・民間事業者・DMOが連携した情報発信の強化

デジタル広告の活用など国内向け・海外向けプロモーションの充実やウェブストップ窓口など観光情報基盤の整備を進める。

(4) 徳島東部地域への入込客増加に向けた誘客・送客・流通促進

誘客・送客事業者等との連携強化、着地型旅行商品の造成や商談会等への参加など徳島東部地域での回遊性向上につながる施策を実施し、入込客増加を目指す。

(5) 広域連携による観光地域づくりの推進

徳島東部地域内でのネットワーク構築を図り、人材育成や地域産品・物産の開発支援などDMOと官民が広域連携して、観光地域づくりを進める。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

- ・徳島県東部圏域においてDMOを設立し、徳島東部15市町村が徳島県や地域と十分に連携・協働しながら、従前から実施している事業に加え、自主的な収益事業を積極的に展開することで、DMO設立後に各種事業収入の増加を図る。
- ・(一社) イーストとくしま観光推進機構は、20社以上という大規模の民間事業者が参画(協賛金の負担等)しており、設立前段階から深化した官民協働の枠組み、安定的な運営を担保した仕組みを構築しており、今後はさらに拡大を図る。
- ・これらの取組(自主的な収益事業の積極展開による収入増加や民間連携の拡大)を進めることに伴い、行政負担を減少させ、行政の負担・補助金のみには頼らない、自立した持続的な地域連携DMOの運営及び観光振興の推進を目指す。



### 【官民協働】

- ・社会情勢の変化や観光ニーズの多様化に対応するため、従来型の行政主導ではなく、民間事業者とも協力しながら、戦略的かつ効果的に観光振興を図ることが必要であるため、徳島東部地域の15市町村と地元金融機関や観光・宿泊・運輸・報道機関・IT関係等、幅広い民間事業者の参画を得て設立した、(一社)イーストとくしま観光推進機構を中心に、地域が一体となって観光振興を進めようとしている。
- ・設立準備段階から20社以上と大規模かつ幅広い分野・業種の民間事業者が多数参画し、民間の意見やニーズを十分に吸い上げたDMO法人にしようとしているなど、官民連携の枠組みを深化させたものとしている。また、民間事業者が資金を拠出し、職員を派遣するなど、一定の責任を有し、安定的な運営を担保する仕組みを構築している。
- ・設立後は各種団体(自治体・民事業者・NPO法人等を想定)が参加するDMO協議会を設置し、それぞれがテーマ別の部会に参加し、個々の取組について連携しながら進めることを予定しており、継続的に官民が関わり合う仕組み・連携体制を十分に吟味したものとしている。

### 【政策間連携】

- ・急激な少子高齢化の進行等で人口減少が加速していることにより、様々な分野で都市間競争が進む中、(一社)イーストとくしま観光推進機構を中心に、徳島東部地域の15市町村の自治体にまたがる広域な範囲で来訪客の増加に向けた取組を戦略的・総合的に推進するとともに、シティプロモーション・地域のにぎわいづくり・地域産業の振興等の様々な施策と連携することで、「都市のブランディング」、「交流人口の増加」、「地域経済の活性化」等多様な効果を発揮し、圏域の活性化に繋げることで地方都市の衰退に歯止めをかけようとしている。

### 【地域間連携】

- ・徳島市は、定住自立圏(全12市町村・中心市は徳島市)を形成し、これまで圏域の市町村と相互に連携・協力して「観光開発・観光誘致事業」に取り組んできた。今後は、この枠組みに鳴門市・吉野川市・阿波市を加えた全国最大級の15市町村に体制を拡大して、(一社)イーストとくしま観光推進機構を中心に、圏域市町村等が連携した観光施策を一層充実させ、それぞれの地域の特性や強みを活かした観光客数増加に向けた取組を一体となって推進する。また、徳島県やDMOの取組を先行して進めている徳島県西部地域と連携し、相互に人の流れを創り出すなど相乗効果を生み出

し、徳島県全体の観光振興・活性化に資することを旨とする。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	H31 年度 増加分 2 年目	H32 年度 増加分 3 年目	KPI 増加分 の累計
徳島県東部圏域の延べ宿泊者数 (万人)	179.57	3	3	3	9
徳島県東部圏域の観光入込客数 (万人)	255.74	5	5	5	15

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

毎年度、DMO外部評価委員会（仮称）において、効果検証等を行う。

徳島市においては、併せて、徳島市まちづくり総合ビジョン推進評価委員会による検証も行う。

鳴門市においては、併せて、総合戦略評価委員会による検証も行う。

阿波市においては、併せて、阿波市まち・ひと・しごと創生本部有識者会議による検証も行う。

【外部組織の参画者】

DMO外部評価委員会（仮称）： 学識経験者、経済団体、NPO法人等を予定  
 徳島市まちづくり総合ビジョン推進評価委員会: 徳島大学、四国大学、徳島文理大学、  
 大学院生、徳島経済研究所、  
 株式会社ときわ、公認会計士  
 （平成 30 年度の参画者）

総合戦略評価委員会：徳島県、鳴門商工会議所、鳴門松茂地区農業協同組合  
 運営協議会、鳴門市水産振興協議会、鳴門教育大学、  
 阿波銀行、徳島新聞、ハローワーク

阿波市まち・ひと・しごと創生本部有識者会議： 県議会、市議会、大学教授、市中銀行、  
 教育委員会委員、商工会、観光協会、  
 社会福祉協議会、農業関係者、PTA連  
 合会、企業、新聞社、NPO法人、野菜  
 ソムリエ組織など代表者で組織

【検証結果の公表の方法】

検証後、15市町村の各ホームページで検証結果を公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 108,480千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日（3カ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

【検証方法】

毎年度、DMO外部評価委員会（仮称）において、効果検証等を行う。

徳島市においては、併せて、徳島市まちづくり総合ビジョン推進評価委員会による検証も行う。

鳴門市においては、併せて、総合戦略評価委員会による検証も行う。

阿波市においては、併せて、阿波市まち・ひと・しごと創生本部有識者会議による検証も行う。

【外部組織の参画者】

DMO外部評価委員会（仮称）：学識経験者、経済団体、NPO法人等を予定

徳島市まちづくり総合ビジョン推進評価委員会：徳島大学、四国大学、徳島文理大学、  
大学院生、徳島経済研究所、  
株式会社ときわ、公認会計士  
（平成30年度の参画者）

総合戦略評価委員会：徳島県、鳴門商工会議所、鳴門松茂地区農業協同組  
合運営協議会、鳴門市水産振興協議会、鳴門教育大  
学、阿波銀行、徳島新聞、ハローワーク

阿波市まち・ひと・しごと創生本部有識者会議：県議会、市議会、大学教授、市中銀行、  
教育委員会委員、商工会、観光協会、  
社会福祉協議会、農業関係者、PTA  
連合会、企業、新聞社、NPO法人、  
野菜ソムリエ組織など代表者で組織

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30年度 増加分 1年目	H31年度 増加分 2年目	H32年度 増加分 3年目	KPI 増加分 の累計
徳島県東部圏域の延べ宿泊者数 (万人)	179.57	3	3	3	9
徳島県東部圏域の観光入込客数 (万人)	255.74	5	5	5	15

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

毎年度、連携15市町村の各ホームページで公表する。

## ■ イーストとくしま2018年度予算（地方創生推進交付金関係）

（歳入）

（単位：千円）

市町村別	負担金（地方創生推進交付金）
徳島市	18,000
鳴門市	2,000
小松島市	2,000
吉野川市	2,000
阿波市	2,000
勝浦町	1,400
上勝町	1,400
佐那河内村	1,400
石井町	1,400
神山町	1,400
松茂町	1,400
北島町	1,400
藍住町	1,400
板野町	1,400
上板町	1,400
合計	40,000

（歳出）

（単位：千円）

区分（事業別）	
① 徳島東部地域の観光資源の発掘と磨きに向けたデータ収集等	600千円
② 自治体・民間事業者・DMOが連携した情報発信の強化	12,400千円
(1)イーストHP制作	(5,400)
(2)WEBプロモーション	(4,600)
(3)募集型企画旅行支援	(1,500)
(4)観光パンフレット制作等	(900)
③ 徳島東部地域への誘客・送客・営業活動	1,500千円
④ 広域連携による観光地域づくりの推進	2,100千円
(1)「食メニュー」を活用した商品開発	(1,500)
(2)地域住民との合意形成	(600)
⑤ 管理経費（人件費・管理経費）	23,400千円
合計	40,000

イーストとくしま観光推進機構（2018～2020 3か年地方創生推進交付金関係）

市町村名	地方創生交付金関係負担金（2018）	地方創生交付金関係負担金（2019）	地方創生交付金関係負担金（2020）	合計
徳島市	18,000	16,200	14,600	48,800
鳴門市	2,000	1,800	1,620	5,420
小松島市	2,000	1,800	1,620	5,420
吉野川市	2,000	1,800	1,620	5,420
阿波市	2,000	1,800	1,620	5,420
勝浦町	1,400	1,260	1,140	3,800
上勝町	1,400	1,260	1,140	3,800
佐那河内村	1,400	1,260	1,140	3,800
石井町	1,400	1,260	1,140	3,800
神山町	1,400	1,260	1,140	3,800
松茂町	1,400	1,260	1,140	3,800
北島町	1,400	1,260	1,140	3,800
藍住町	1,400	1,260	1,140	3,800
板野町	1,400	1,260	1,140	3,800
上板町	1,400	1,260	1,140	3,800
合計	40,000	36,000	32,480	108,480

## 《平成30年度事業報告》

### I 組織の概要

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構（以下、「機構」という。）は、観光消費額の増加による地域経済の活性化及び地域に対する住民の愛着や誇りの醸成を2つのミッションとして掲げ、平成30年3月30日に設立され、同年4月2日徳島市において事務所を開設し、業務を開始した。平成30年度は、前年度の徳島東部地域DMO設立準備委員会に引き続き多様な関係者と協働した組織づくりを進めるとともに、観光地域づくり、プロモーション・セールス、及び市場調査等の事業に取り組んだ。また、本年7月31日には、観光庁より日本版DMO候補法人（地域連携DMO）として登録がなされた。今後さらなる事業の推進とともに、日本版DMO登録に向けた取組を進める。

### II 事業の実績

#### 1 観光地域づくり事業

##### (1) 平成30年度 第1回協議会「イーストとくしま誘客ラボ」

日時 平成30年8月28日（火）13:00～18:45

場所 アスティとくしま

内容 ・協議会運営について  
・WGの発表  
・基調講演（北海道宝島旅行社 鈴木宏一郎氏）  
・意見交換会

約120名参加

##### (2) 徳島東部エリア満喫モニターツアー

「！」ぎっしり。徳島東部エリア満喫モニターツアー

期間 平成30年11月3日から平成31年1月20日まで

コース 8プラン

場所 徳島県東部圏域15市町村

（徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市、阿波市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町）

内容 徳島県東部圏域の認知度の向上や徳島県内外の旅行者を呼び込む

ため、同圏域の各市町村の観光施設を周遊する8つのモニターツアーの実施とともに、参加者へのアンケート調査によるデータの収集・分析によって、今後の観光地域づくりの指針につなげる。

11/3 (土)

アートの町神山芸術の旅

(神山町) 40名

11/10 (土)

映画のロケ地！勝浦・上勝町でいろどり&自然体験

(勝浦町・上勝町) 17名

11/17 (土)

食欲の秋！徳島ブランド阿波美豚とハモ丼で満腹の旅

(石井町・小松島市) 36名

11/23 (祝・金)

農業・漁業を体験！徳島の暮らし体感の旅

(松茂町・佐那河内村) 25名

12/1 (土)

科学・自然を学ぶ！板野町・阿波市を巡る旅

(板野町・阿波市) 22名

12/8 (土)

JAPAN BLUE 阿波藍染めを学ぶ！体験する日帰りツアー

(藍住町・上板町) 23名

12/15 (土)

自分へのお土産に！制作体験目白押しツアー

(北島町・吉野川市) 21名

2/2~3&2/16~17 (土・日)

徳島・鳴門2大都市満喫の旅(徳島市・鳴門市) 日帰り

### (3) 情報発信技術向上への取り組み

#### ① 第1回 情報発信勉強会

日時 平成30年9月26日(水)

場所 アスティとくしま 2F 第5会議室

講師 一般社団法人徳島新聞社 編集局次長 松本 真也氏

内容 紙面掲載ノウハウとプレスリリース作成について

19名参加



② 第2回 情報発信勉強会

日 時 平成30年10月25日(木)

場 所 阿波おどり会館 4F第1活動室

講 師 四国放送株式会社 報道情報センター 八幡 篤範氏

内 容 テレビ局の仕組みと動画制作のポイントについて

11名参加

(4) DMOの取り組みや活動についての講演活動

① 8/29: NECビジネスセミナー 約80名

② 10/15: 徳島青年会議所10月例会(観光部会) 約80名

③ 10/19: 通訳人材養成セミナー(徳島県) 約40名

④ 10/22&29: 徳島大学「観光学講座」 約80名

⑤ 11/7: 観光アイディアコンテスト(徳島経済同友会) 約30名

⑥ 11/20: 徳島県広告協会秋の講演会 約70名

⑦ 11/22: 4K・VR徳島映画祭 約30名

2 プロモーション・セールス事業

(1) 国内外・現地旅行会社との商談会等によるPR活動

<国内>

① 東京「オール徳島観光商談会」

日 時 平成30年5月15日(火)～16日(水)

② 大阪「JR四国商品説明会」

日 時 平成30年5月30日(水)

③ 東京「オール徳島観光商談会」

日 時 平成30年9月13日(木)～14日(金)

<国外>

① 台湾 「台湾3都市におけるセミナー・個別相談会」

日 時 平成30年9月4日(火)～8日(土)

場 所 台湾(高雄市・台中市・台北市)

② 香港 「日本秋祭りin香港 徳島インバウンド商談会」

日 時 平成30年11月11日(日)～14日(水)

場 所 香港

③ 愛媛 「瀬戸内への海外富裕層旅行会社等との意見交換会」

日 時 平成30年11月13日(火)～14日(水)

対象地域 欧米豪の旅行代理店

- ④ タイ・香港 「四国インバウンド商談会 in バンコク」  
日 時 平成30年11月17日(土)～24日(土)  
場 所 タイ(バンコク)・香港
- ⑤ 香港 「徳島インバウンド商談会」  
日 時 平成30年11月11日(日)～14日(水)  
場 所 香港
- ⑥ 香港 「季節定期便就航に伴う誘客促進」  
日 時 平成30年12月19日(水)～22日(土)  
場 所 香港
- ⑦ 台湾  
日 時 平成31年1月18日(金)～20日(日)  
場 所 台湾(台北市)

## (2) ホームページリニューアル

平成30年10月31日、ホームページをリニューアル。「じゃらん遊び体験」や「旅くら」と連携することにより、宿泊施設の予約や地域の体験プランの情報提供など、旅行者の利便性の向上に努めている。

HP：<http://www.east-tokushima.jp/>

Facebook：<https://www.facebook.com/east.tokushima2018/>

Instagram：<https://www.instagram.com/p/BrRy3QtBs7z/>

## (3) WEBプロモーション

徳島県東部圏域の観光・イベント情報・宿泊・体験プラン等を訴求力のあ  
る動画や写真で発信することにより、観光客の増加につなげる。

- ① 11/15 配信：「徳島で発見した日本の原風景」
- ② 12/ 1 配信：「徳島ナイトライフの楽しみ方」
- ③ 12/15 配信：「自分を高める聖地へ！お遍路ガール」
- ④ 2/4 配信：「人形浄瑠璃と藍染を巡る水都とくしま母娘旅」  
etc…

※今後計11本作成(予定)

## 3 市場調査事業

### (1) 観光アンケート

観光施設において、対面式のアンケート(一部訪日外国人を含む。)を行  
い、旅行目的や観光消費額、満足度などの情報収集を行った。また、徳島県  
東部圏域の宿泊施設においても、留め置き式のアンケート調査により同様の

情報収集を行い、現在調査結果の分析を進めている。分析結果については、今後の事業に役立ててもらうため社員・賛助会員はじめ、地域の観光関連事業者へフィードバックする。

(対面式)

平成30年11月3日(土)・平成30年11月4日(日)

⇒アンケート収集数：423サンプル(外国人：34サンプル)

(留め置き式)

平成30年10月24日(水)～平成30年11月4日(日)

⇒アンケート収集数：102サンプル(外国人：3サンプル)

合計アンケート収集数：525サンプル(外国人：37サンプル)

## (2) 観光動態調査及び来訪者満足度調査の分析

観光客の属性別の行動実態等の把握と、来訪者満足度調査との関わりについて分析を行い、来訪者のニーズを把握する。

<分析対象>

期 間：2017年6/1～11/30

対 象：徳島県東部圏域内に60分以上滞在した方(生活圏データ排除)  
10,000人<日帰り:5,136名:宿泊:4,864名>  
(ウェイトバック補正後)

## 4 実施事業

### (1) 観光コーディネーター養成講座

地域資源の価値を見出し、売れる商品へと編集していく視点と、それらの価値を事業者へ効率的に伝えるノウハウを身に付けることで、観光消費額の増加や観光客に対する「おもてなし」の向上を図るため、6回シリーズの講座を開催。

<プログラム>

- ① 12/7：エリア観光地の現状とあるべき姿  
～観光コーディネーターの必要性について～ 44名
- ② 12/17：通訳案内士が見た訪日観光客の感動ポイント  
～おもてなしの心～ 52名
- ③ 1/10：観光コーディネーターの多様な役割  
～コーディネーターとプロモーション～
- ④ 1/21：ガイド業務の基本①

～ガイドの内容・ポイントについて～

- ⑤ 2 / 4 : ガイド業務の基本②

～シナリオ作成・ガイド実演～

- ⑥ 2 / 2 3 : 実地体験研修 (にし阿波)

(2) 「食」メニュー企画・プロモーション

徳島県産食材を使用したホテルの「新たな朝食メニュー」を、WEBや「GEEN」等の情報発信により、徳島県東部圏域の豊かな食に対する興味の醸成及び宿泊者の増加・満足度の向上を図る。

(平成31年2月より実施予定)

(3) 観光パンフレット等営業ツール作成及びパッケージツアー造成の推進

徳島県東部圏域の認知度や来訪意欲の向上，機構観光サイトへの検索流入を増やすため，国内外の個人旅行者向けパンフレット及びデジタルも含む営業ツール等を作成し誘客を促進する。

(4) 「募集型企画旅行」支援事業

徳島県東部圏域の魅力発信及び県外からの宿泊者増加を目的に，旅行代理店を対象に徳島県東部圏域の宿泊を伴う「募集型企画旅行商品」に対してパンフレット・募集チラシ・新聞折込・新聞広告掲載などの費用に助成金を交付し，旅行商品の造成を促進する。

※京都府、岡山県、島根県、石川県、兵庫県の旅行会社を中心にセールスを実施している。

<参考>

1 社員・会員（平成31年2月1日現在）

<社員（自治体・15）>

徳島市・鳴門市・小松島市・吉野川市・阿波市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町

<社員（民間・18）>

東海運株式会社・株式会社阿波銀行・株式会社エアトラベル徳島・オーシャン  
トランス株式会社・株式会社キョーエイ・株式会社JTB・四国電力株式会  
社・四国放送株式会社・テック情報株式会社・東武トップツアーズ株式会社・  
株式会社ときわ・株式会社徳島銀行・一般社団法人徳島新聞社・徳島信用金  
庫・株式会社日本旅行・ノヴィル株式会社・株式会社ハレルヤ・株式会社あわ  
わ

<賛助会員（会員・7）>

四国旅客鉄道株式会社・全日本空輸株式会社・株式会社テレコメディア・徳島  
県信用保証協会・徳島港湾荷役株式会社・徳島市旅館組合・株式会社ネオビエ  
ント

<一般会員（会員・3）>

公益社団法人徳島県物産協会・三井住友海上火災保険株式会社・東京海上日動  
火災保険株式会社

2 日本版DMO候補法人登録について

観光庁へ日本版DMO候補法人登録の申請を行い、平成30年7月31日付  
で登録された。

（登録の詳細）

日本版DMO候補法人の名称：一般社団法人イーストとくしま観光推進機構

申請区分：地域連携DMO

登録番号：第20086号

マーケティング：マネジメントを対象とする区域：

徳島県徳島市，鳴門市，小松島市，吉野川市，阿波市，勝浦町，上勝町，  
佐那河内村，石井町，神山町，松茂町，北島町，藍住町，板野町，上板町

以上

1-1. 都道府県別 延べ宿泊者数 推移表 (年計)

(単位: 人泊)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
	計	計	計	計	計	計	計
全国	417,234,450	439,495,120	465,893,370	473,501,950	504,078,370	492,485,160	509,596,860
北海道	27,293,760	28,591,870	30,970,470	30,979,070	32,591,070	33,554,500	35,556,950
青森県	4,481,930	4,546,440	4,759,730	4,511,260	5,006,470	5,006,420	4,624,260
岩手県	6,306,100	6,517,240	5,590,690	5,888,980	6,156,280	6,241,440	6,075,910
宮城県	9,788,570	10,042,560	11,334,990	10,259,780	10,820,670	9,765,080	9,980,830
秋田県	3,721,130	3,460,540	3,493,090	3,761,400	3,457,240	3,399,890	3,346,180
山形県	5,430,380	5,559,550	5,430,680	5,898,540	5,973,260	5,443,790	5,242,180
福島県	10,798,650	10,585,930	10,748,340	11,060,830	11,473,400	10,198,820	10,858,410
茨城県	4,450,960	5,097,080	5,154,170	5,462,770	5,740,920	5,608,470	5,614,360
栃木県	8,695,920	9,762,230	9,717,140	9,582,340	10,288,850	10,316,840	10,224,250
群馬県	8,748,680	8,385,380	9,138,510	8,593,380	8,828,080	8,651,160	8,756,660
埼玉県	3,566,100	3,736,890	3,974,240	4,109,880	4,330,720	4,472,830	4,590,130
千葉県	15,959,680	19,321,960	20,398,580	21,201,240	22,573,510	21,880,880	24,636,500
東京都	41,528,320	49,189,870	52,824,060	54,258,780	59,087,920	57,514,950	59,949,670
神奈川県	16,331,430	17,235,100	16,840,830	19,200,770	19,065,960	18,746,090	20,756,330
新潟県	10,365,090	10,202,510	9,676,970	9,607,330	10,259,960	10,204,650	10,202,050
富山県	3,455,020	3,618,940	3,821,370	3,489,160	3,990,920	3,408,470	3,895,490
石川県	6,976,680	7,243,760	7,449,930	7,543,170	8,729,520	8,696,500	8,736,680
福井県	3,653,820	3,536,210	3,250,950	3,790,460	4,163,910	3,709,190	3,586,770
山梨県	7,069,110	7,020,510	6,928,770	7,570,390	8,425,870	8,352,920	8,024,260
長野県	19,375,310	18,291,290	18,750,560	17,897,190	19,213,380	17,804,660	17,989,080
岐阜県	5,575,640	5,830,330	6,042,480	6,098,660	6,778,010	6,384,400	6,205,370
静岡県	19,412,880	20,286,510	20,923,330	21,022,570	22,530,110	21,237,660	20,778,710
愛知県	12,406,940	13,426,230	14,653,230	15,395,410	16,622,180	16,558,790	17,189,390
三重県	7,568,670	8,334,690	9,686,440	8,794,360	9,458,820	9,304,450	8,319,100
滋賀県	4,310,460	4,217,270	4,074,590	4,628,730	5,393,240	4,831,230	4,649,630
京都府	14,405,110	16,240,750	20,087,510	16,986,760	18,255,030	17,649,500	18,921,720
大阪府	21,764,630	23,343,620	23,881,430	28,369,250	30,366,080	31,010,470	33,212,480
兵庫県	11,892,580	12,353,120	13,226,080	13,759,210	14,163,920	13,758,680	13,800,590
奈良県	2,027,900	2,230,560	2,480,220	2,270,170	2,552,560	2,522,030	2,654,380
和歌山県	4,095,810	4,283,310	4,441,600	4,456,370	4,736,400	4,665,510	4,862,960
鳥取県	3,303,670	2,864,320	3,540,280	3,043,000	2,994,290	2,989,460	2,991,700
島根県	2,812,210	2,626,850	3,274,100	3,219,190	3,417,450	3,466,560	3,186,890
岡山県	4,748,580	4,667,230	5,216,680	5,387,650	5,163,880	5,347,280	5,825,430
広島県	7,885,900	8,220,210	7,942,310	8,572,130	9,421,370	9,592,650	9,629,230
山口県	4,175,000	4,292,020	4,379,090	4,489,320	4,847,160	4,663,910	4,440,630
徳島県	1,963,470	1,820,010	2,256,720	2,869,160	2,314,910	2,383,140	2,298,150
香川県	3,265,020	3,550,090	3,585,200	3,462,700	4,076,570	3,779,900	3,758,400
愛媛県	4,172,340	3,797,870	3,599,020	3,592,350	3,773,550	4,041,340	4,700,800
高知県	2,931,420	3,088,360	2,873,700	2,904,380	2,819,870	2,821,620	2,714,490
福岡県	13,240,240	13,674,120	13,986,570	15,232,160	16,143,170	16,475,930	17,001,170
佐賀県	2,696,600	2,483,640	2,637,180	2,837,990	3,052,190	3,040,560	2,973,270
長崎県	6,993,380	6,628,470	7,254,700	7,315,020	8,672,440	7,383,780	7,719,200
熊本県	7,231,800	7,089,180	7,057,610	6,869,150	7,130,540	7,275,180	7,898,550
大分県	6,319,580	6,122,600	6,711,060	6,101,170	7,388,270	6,851,540	7,350,280
宮崎県	3,097,120	3,627,650	3,716,050	3,481,860	3,792,000	3,643,200	4,194,130
鹿児島県	6,795,810	6,870,930	7,322,530	7,534,490	7,972,730	7,202,190	7,986,670
沖縄県	14,145,070	15,579,340	20,789,590	20,142,060	20,063,730	20,626,690	21,686,570

H26: 全国総値  
 H27: 全国総値  
 H28: 4  
 H29: 4

観光 宿泊旅行統計調査

2-1. 都道府県別 外国人延べ宿泊者数 推移表 (年計)

(単位:人泊)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
	計	計	計	計	計	計	計
全 国	18,415,690	26,314,340	33,495,730	44,824,600	65,614,600	69,388,940	79,690,590
北海道	1,583,740	2,012,070	3,069,750	3,890,590	5,641,140	6,554,220	7,702,470
青森県	33,730	42,430	62,480	74,010	119,010	160,180	260,330
岩手県	33,330	45,990	65,320	77,130	106,330	132,030	187,930
宮城県	53,520	90,330	106,600	117,150	190,610	199,290	264,470
秋田県	27,210	27,580	36,140	41,510	59,800	66,950	104,660
山形県	34,710	32,170	37,410	48,220	75,720	88,200	117,860
福島県	27,540	37,230	41,830	44,040	56,420	78,860	130,300
茨城県	88,200	89,020	88,490	94,070	200,730	224,630	230,690
栃木県	77,300	106,910	178,960	159,400	231,540	252,430	271,810
群馬県	48,760	69,240	108,930	112,280	160,340	214,350	291,460
埼玉県	55,030	88,230	97,570	99,440	158,580	169,510	219,440
千葉県	1,429,740	1,794,850	2,048,240	2,667,200	3,500,370	3,344,800	3,675,180
東京都	5,651,810	8,291,740	9,830,950	13,195,260	17,560,590	18,059,960	19,775,890
神奈川県	674,600	924,550	1,067,440	1,432,500	2,156,320	2,160,600	2,336,510
新潟県	91,250	96,870	106,510	135,520	262,500	267,020	315,400
富山県	51,160	94,000	136,290	142,070	207,790	222,270	287,720
石川県	126,260	190,380	326,380	348,290	517,430	623,460	777,240
福井県	23,560	26,570	30,360	31,530	55,970	54,360	61,160
山梨県	250,270	387,360	492,230	948,880	1,252,130	1,371,300	1,608,760
長野県	224,140	288,340	543,090	660,480	947,450	1,134,940	1,289,960
岐阜県	134,080	260,090	416,740	597,690	930,660	1,013,490	975,060
静岡県	333,560	494,220	559,740	786,310	1,739,620	1,570,350	1,501,920
愛知県	712,630	944,640	1,147,560	1,489,680	2,347,290	2,393,190	2,542,860
三重県	90,990	94,660	130,890	178,520	391,740	351,870	334,230
滋賀県	85,710	114,000	131,880	230,750	477,250	480,740	388,580
京都府	1,052,740	2,305,170	2,625,880	3,291,010	4,578,670	4,602,810	5,556,380
大阪府	2,365,390	3,060,850	4,314,500	6,200,160	8,965,670	10,008,830	11,672,040
兵庫県	309,060	353,830	507,030	697,910	1,207,020	1,119,760	1,248,220
奈良県	34,560	104,300	164,570	145,260	258,600	307,840	389,440
和歌山県	63,890	116,930	187,100	284,790	434,630	557,350	525,050
鳥取県	31,810	39,490	46,850	58,830	103,430	100,320	140,530
島根県	15,830	17,920	18,980	28,000	42,950	58,310	47,860
岡山県	59,030	78,880	85,970	110,960	170,530	281,800	438,970
広島県	169,620	401,130	365,800	435,020	740,630	839,710	927,890
山口県	37,020	48,170	46,230	56,670	109,410	92,520	117,330
徳島県	19,310	45,090	32,310	35,940	58,340	69,450	102,810
香川県	36,570	43,090	95,830	142,710	210,470	358,360	482,300
愛媛県	38,890	62,660	67,020	64,120	106,850	146,700	178,590
高知県	16,480	33,640	24,820	38,590	65,890	75,400	75,410
福岡県	604,160	758,730	900,040	1,357,300	2,359,700	2,674,110	3,112,070
佐賀県	36,860	40,960	55,550	90,940	191,120	249,640	385,250
長崎県	276,810	418,820	424,980	492,510	872,190	725,420	779,250
熊本県	250,390	325,910	421,320	475,400	714,720	518,730	807,750
大分県	358,860	310,320	409,640	400,400	773,990	827,010	1,386,930
宮崎県	41,980	153,230	136,990	161,020	201,880	245,180	296,670
鹿児島県	92,890	170,570	214,810	266,000	415,730	480,920	744,180
沖縄県	560,770	781,210	1,487,750	2,388,550	3,684,870	3,859,790	4,623,800

1127: 全国総値

観光庁 宿泊業の活性化

## 平成29年度 徳島県の観光施設入込状況

施設名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	前年同期比	ピーク時	
① 大鳴門橋架橋記念館(ア'イ)：鳴門市	人	105,068	100,523	96,984	82,441	55,136	66.9	H23	110,462
② 渦の道：鳴門市	人	480,298	506,348	510,494	518,300	527,829	101.8	H12	881,317
③ 鳴門公園駐車場：鳴門市	台	128,589	135,330	139,089	141,728	144,559	102.0	H12	190,603
④ あすたむらんど徳島：板野町	人	433,695	434,829	500,754	474,436	438,917	92.5	H13	606,177
⑤ ドイツ館：鳴門市	人	24,323	25,642	28,532	28,984	31,640	109.2	H6	80,383
⑥ 藍の館：藍住町	人	26,801	26,569	31,217	31,384	34,249	109.1	H5	42,387
⑦ とくしま動物園：徳島市	人	239,889	242,783	265,172	230,381	227,816	98.9	H10	466,929
⑧ 阿波おどり会館：徳島市	人	130,191	137,737	142,373	150,882	162,336	107.6	H29	162,336
⑨ 文化の森総合公園：徳島市	人	725,941	774,339	865,037	1,097,071	905,976	82.6	H28	1,097,071
⑩ 阿波十郎兵衛屋敷：徳島市	人	25,806	26,412	26,436	28,494	28,955	101.6	S63	129,232
⑪ 太龍寺ロープウェイ(上・下)：那賀町	人	151,511	206,344	134,938	199,925	124,592	62.3	H5	308,000
⑫ うみがめ博物館(カワガ)：美波町	人	31,871	28,827	34,329	33,553	32,526	96.9	H21	62,380
⑬ 祖谷のかずら橋：三好市	人	327,562	301,193	348,529	339,035	357,697	105.5	H10	398,093
⑭ うだつの町並み：美馬市	人	196,885	178,056	191,437	172,671	159,104	92.1	H21	238,422
⑮ 妖怪屋敷と石の博物館：三好市	人	28,493	27,353	27,560	24,336	21,539	88.5	H13	69,430
徳島県計(※①)		3,056,923	3,152,285	3,342,881	3,553,621	3,252,871	91.5		

※ ①合計値は、単位が異なったまま合算しているので注意を要する。

国土交通省 国土院 運輸局  
 徳島県東部圏域  
 ①～⑮  
 1729 = 3,557,412人